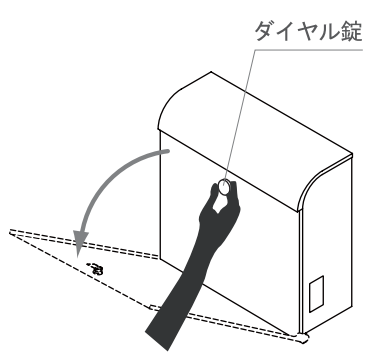
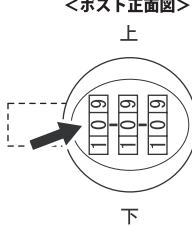
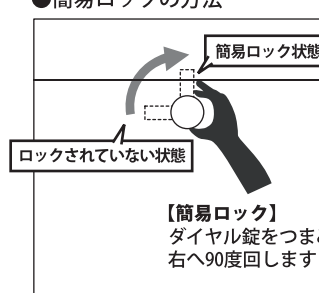





⚠️ まずはじめにご確認ください

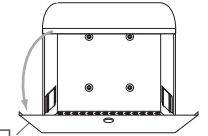
各部操作方法について

取出し口の開閉方法	簡易ロック、ダイヤル錠ロックの方法	
<p>ダイヤル錠をつまみ、手前に引くと取出し口が開きます。</p>  <p>ダイヤル錠</p> <p>※「簡易ロック状態」や「ダイヤルロック状態」(右図)では開きません。</p> <p>※取出し口は閉じた時に磁石により仮固定されますが、不意に開かないよう、ダイヤル錠を回して内部の鍵をかけておいてください。(右図参照)</p>	<p>ロックされていない状態</p> <p>※カギ部(内部)が下がっているため取出し口が開きます。出荷時の暗証番号は初期設定「000」になっています。</p> <p><ポスト正面図></p> <p>上</p>  <p>下</p> <p>●簡易ロックの方法</p>  <p>簡易ロック状態</p> <p>ロックされていない状態</p> <p>【簡易ロック】ダイヤル錠をつまみ右へ90度回します</p>	<p>簡易ロック状態</p> <p>※カギ部(内部)が上がっているため取出し口は開きません。ただしこの状態ではダイヤル錠は回転し誰でも取出し口を開けることができます。</p> <p>ダイヤルロック状態</p> <p>※ダイヤルの数字が暗証番号以外になっていてダイヤル錠自体がロックされ回転しない状態です。暗証番号を知らない人は開けることができません。</p> <p>上</p>  <p>下</p> <p>●ダイヤルロックの方法</p>  <p>※簡易ロック状態でダイヤルの数字を暗証番号以外(初期設定時では「000」以外)の位置にずらす。</p>

ダイヤル錠の設定方法について



下記、暗証番号の設定は必ず取出し口を全開にした状態で行ってください



取出し口

①取出し口を開けたまま、簡易ロック状態にします。

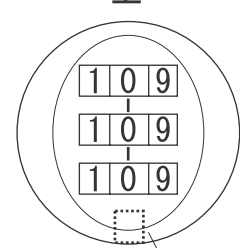
ダイヤルを現在の解錠番号にセットします(初期設定の場合:「000」に合わせる)

※一度設定した暗証番号から別の番号に変えたい場合は、現在設定している番号にセットします

ダイヤル錠の向きは下図の状態にしてください(ロックされていない状態)

<ポスト正面図>

上



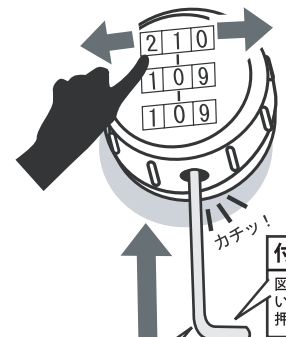
下

穴(リセットボタン)
※正面からみて下面

②付属のL型棒(下図参照)で穴(リセットボタン)を奥まで強くまっすぐに押し続けた状態でダイヤルを回し、新しい暗証番号にセットした後、リセットボタンを離します。

※リセットボタンを離した時点での番号が新しい暗証番号として設定されます。そのため設定中は絶対にリセットボタンを強く押し込み続けてください

※下記では例として「100」に設定しています。



付属のL型棒

図では柄の長い方を差し込んでいますが短い方も可能です。押しやすい方をお選びください。

強くまっすぐに奥まで押し込み続けた状態でダイヤルを回す

リセットボタンを正しく押せているか確認する場合、ダイヤル錠に耳を近づけながらリセットボタンを試し押しすると、「カチッ」という小さな音が聞こえ、軽く押した感触があります。

③設定完了です。新しい番号でしかダイヤル錠が回転しなくなります。

●設定が完了したら


①暗証番号を控える

※暗証番号を忘れてしまった際は解錠できなくなりますので、下記にメモを取るなどして大切に保管してください

↑ここに暗証番号を記入し、本紙ごと保管ください

②付属のL型棒を保管する

※暗証番号を変更する際に必要となります。無くさないように大切に保管ください。



⚠️ 暗証番号について

暗証番号は何度でも変更可能ですが、現在の暗証番号を忘れた場合は「穴(リセットボタン)」が押せず暗証番号の変更が出来ませんので十分にご注意ください。なお、変更の際は再度①から同じ手順で設定してください。

裏面もご参照ください。